

閩戸愛育班・夏祭りとバザー



平野愛育班・乳幼児測定会



市街地西愛育班・七夕会



市街地東(馬込・東)愛育班・七夕会



市街地東(桜台・川島)愛育班・七夕会

■市内にある7つの愛育班

班名	対象地区	主な活動場所
市街地東愛育班	東1・3・4丁目、馬込(2000番地台除く)、川島、桜台、緑町、黒浜2200番地台	殖産自治会館、桜台自治会館、馬込自治会館
市街地西愛育班	本町、末広2丁目、御前橋2丁目、見沼町、上、関山、綾瀬、山ノ内、東2丁目	須賀神社参集殿
下蓮田愛育班	東5・6丁目、蓮田、末広1丁目、御前橋1丁目、馬込2000番地台	児童センター、南蓮田自治集会所、下蓮田公民館
黒浜第1愛育班	南新宿、西新宿、西城、城、椿山、黒浜2100番地台・2300～2700番地台・3600～3900番地台	城自治会館、黒浜西自治会館
黒浜第2愛育班	黒浜1～2099番地台・2800～3500番地台・4000番地台、笹山、江ヶ崎	環境学習館、保健センター
閩戸愛育班	閩戸、貝塚	コミュニティセンター、閩戸子育て支援センター
平野愛育班	根金、井沼、駒崎、上平野、高虫	農業者トレーニングセンター

推進員は、産まれた赤ちゃんが1歳になるまで定期的に訪問し、赤ちゃんやお母さん自身の健康状態を伺っています。その際、何か相談を受けた場合には、推進員が自分の育児の経験を生かしながらアドバイスしています。専門的な内容のときは、健康増進課の保健師や栄養士にたずねています。推進員は、市から依頼を受けて活動していますので、安心して気軽に相談ください。

妊婦さんや赤ちゃんのいる家庭を訪問しています。行事と併せて愛育会の活動の中心となっているのが、妊婦さんや乳幼児のいるお母さんへの訪問活動です(表紙写真)。この活動は、各地区の愛育班の役員が、市長から母子保健推進員(以下推進員)として委嘱を受けて行っています。蓮田市では、愛育班の役員のかた全員が推進員になっています。

妊婦さんや乳幼児のお母さんへの訪問は、妊娠の届出をした際、推進員による訪問に同意していただいたかたに実施します。推進員は、市の健康増進課が作成した訪問カードを基にご家庭を訪問し、「お元気ですか」と声をかけています。この訪問は、厚生労働省が進める乳児家庭全戸訪問事業(こんには赤ちゃん訪問)も兼ねています。

妊婦さんや赤ちゃんのいる家庭を訪問しています。行事と併せて愛育会の活動の中心となっているのが、妊婦さんや乳幼児のいるお母さんへの訪問活動です(表紙写真)。この活動は、各地区の愛育班の役員が、市長から母子保健推進員(以下推進員)として委嘱を受けて行っています。蓮田市では、愛育班の役員のかた全員が推進員になっています。

平野愛育班の行事に娘とよく参加します。今日(7月9日)は、ひよっこ人形劇グループの皆さんによる人形劇を楽しんだ後、測定会に参加しました。

愛育班は、幼稚園前に地域のお友達ができるのでいいと思います。娘も家の中に親子でいるより、同年代の子とかわっていたほうが楽しめるようです。



澤石恵美子さん
結奈ちゃん

親子で友達への場になっています。



特集

いっしょに子育て

～母子愛育会に参加しませんか～

母子愛育会は、妊婦さんや乳幼児のお母さんたちが、地域で楽しく健康に過ごせるよう活動しているボランティア組織です。市内では7つの班(愛育班)に分かれ、それぞれ活発に活動しています。

今月は母子愛育会について特集します。

母子愛育会は子育てをサポートするボランティア組織です

母子愛育会は、妊婦や乳幼児の母親を中心に地域のネットワークを作り、「皆が楽しく子育てしながら健康に生活できる」ように活動している全国的なボランティア組織です。

蓮田市では、昭和32年に蓮田市母子愛育会として活動が始まり、今年で52年目を迎えます。会員の対象は、市内在住の妊婦のかたと小学校入学前までの子どもを持つお母さんです。

7つの愛育班が活発に活動しています

6月23日、児童センターを会場に、下蓮田愛育班の乳幼児身体測定会が行われました。お母さんは役員さんを手伝ってもらいながら、お子さんの体重や身長を測ります(上写真)。測定が終わると、記念にお子さんの手形・足形をとるかたや、お母さん

自身の血圧を測定してもらった方もいます。会場の一角には交流スペースがあり、子どもを遊ばせながらお母さん同士が楽しくおしゃべりしたり、保健師や子育てアドバイザーと話したりと、皆さん思い思いのひとときを過ごしていました。

下蓮田愛育班は、蓮田市母子愛育会(以下愛育会)の班の一つです。愛育会は、地域ごとの班(愛育班)に分かれて活動します。蓮田市の愛育会には7つの愛育班があります(3ページ上表)。

愛育会の主な活動は、全会員を対象とした研修会や映画会の開催のほか、各愛育班での行事の開催です。行事の内容はさまざまで、乳幼児の身体測定会、七夕会やおいも掘り、クリスマス会などの季節の行事、会員同士の交流会、リサイクル会やバザーなどがあります。それぞれの愛育班が趣向を凝らした行事を企画しています。



黒浜第1愛育班・交流会

●役員として愛育会活動に参加したかたの声は
昨年度役員を経験したお母さんたちからは「眠っていたパワーが目覚めた」「自分の成長につながった」「友達ができ」「市内で行われているイベントがわかった」などの声が聞かれました。実際に愛育会の役員を経験して、その後、学校や地域の活動にかかわっていくかたも多いそうです。愛育会活動への参加が地域活動の第一歩になっているようですね。とてもうれしいことだと思います。



黒浜第2愛育班・七夕会

健康増進課の保健師が活動をサポートします

愛育会(班)の活動をサポートしている、市役所健康増進課の保健師の皆さんに質問しました。

●どつすれば会員になることができますか
妊娠の届出をする際に、母子保健推進員の訪問同意書に記入していただく、後日担当の推進員が訪問します。推進員が、その地区の愛育班の役員です。定期的に訪問しながら愛育班の行事をご案内しますので、ぜひ参加してください。

また乳幼児健診などの際にも、加入されていないかたには保健師からご案内をしています。入会はいつでもできますので、健康増進課まで気軽にお問い合わせください。

●どのくらいのかたが会員になっていますか
愛育会の会員数は、市内全体で1122人(平成21年5月末現在)です。ぜひ一人でも多くのかたに加入していただいて、地域の子育ての交流の場として利用していただきたいと思います。まずは参加してみてください。

●妊婦でも参加できる行事はありますか
ほとんどの地区で、妊婦さんと乳児のお母さんを対象にした交流会を

開催しています。ここで近所にいる妊婦さんのお友達ができたり、先輩ママから出産や子育てのアドバイスを聞いたりして、不安を解消できるのではないかと思います。お友達の輪がきつと広がりますので、ぜひ顔を出してみてください。

●蓮田の愛育会の特徴はどんなところですか
なんとといっても、現役で子育て中のお母さんたちが役員となって活動していることです。他の市町村では子育てを終えた年代のかたが役員となっていることが多く、蓮田のような例は全国でも珍しいようです。

毎日の子育てで忙しい中、行事の企画や準備など、皆さん積極的にかわってくれています。このママたちのパワーが、自慢できるところです。

愛育会の活動を支える現役ママたちに聞きました

愛育会や愛育班の活動を支えている、役員ママたちにお話を聞かため、班長会におじゃましました。この日は、これから開催される研修会や、参加する市内イベントでの出しもの内容について話し合っていました。周りで子どもたちが元気に遊ぶなか、会長さんや副会長さんを中心に、活発な意見が飛び交っていました。役員皆さんの話をお話をもってきました。



班長をするようになってよかったこと

- 上の子のときは参加していなかったが、役員になって初めて愛育班活動の楽しさに気づいた
- 行事を企画して、みんなが楽しんでくれるのがなによりうれしい
- 活動しながら子育てについての相談ができ、子育てが楽になった
- 自治会など地域のかたに協力してもらえた

愛育班活動のいいところ

- 地域の人たちと親密になれる
- 同じ地域に住んでいるので、つきあいが長く続く
- 幼稚園前に地域のつながりができ、情報交換の場としていい
- 知り合いが増えて、いろいろな情報をもらえる

会員の皆さんへのメッセージ

- 遠慮しないでぜひ気軽に参加してほしい
- 役員(になる)という構えられてしまう。楽しいのでぜひいっしょに活動してほしい

ご協力ありがとうございました。

愛育会の活動は母親の声が活かされています

蓮田では、各地区の愛育班の役員はもちろん、全体をとりまとめる愛育会の役員も現役ママが担っています。今年度、愛育会の会長をしている小池智子さん(写真)にお話を伺いました。「蓮田の愛育会は子育て中のお母さんたちで構成されているので、母親の声が直接活動に活かされていると思います。皆さんとても協力的なので助かっています。役員にはいろいろなタイプのかたがいて、さまざまな意見を聞くことができますのもいいですね。視野が広がったかたが顧問として会に残り、適切なアドバイスをしてくれるのも心強いです」と話してくれました。



田の愛育会は子育て中のお母さんたちで構成されているので、母親の声が直接活動に活かされています。皆さんとても協力的なので助かっています。役員にはいろいろなタイプのかたがいて、さまざまな意見を聞くことができますのもいいですね。視野が広がったかたが顧問として会に残り、適切なアドバイスをしてくれるのも心強いです」と話してくれました。

愛育会は、一会員としてただ参加するだけでなく、役員としての立場で活動にかかわること、新たな発見もあるようです。小池さんは「これまで家事や育児に追われて毎日を過ごしていましたが、役員をするようになってから生活にメリハリがでるようになりました」と話します。今後の愛育会活動の課題については、「転入してきたかたもぜひ愛育

蓮田市母子愛育会研修会「AEDの使い方・子どもの救急救命について」



市消防署救急隊による、救急救命についての研修会です。AEDの使い方や、子どもにもしものことがあったときの対処法について学びます。ぜひご参加ください。

日時 9月29日(火) 午前10時~11時30分 (受付午前9時45分)
場所 保健センター
定員 40人(申込み順)
申込み 9月24日(木)までに電話で健康増進課へ

※保育あり(1歳以上)。申込み時に予約。
健康増進課母子係(内線)604

会に参加してほしいです。たくさんのかたに活動の楽しさを知っていただきたいです」と言います。そのほかにも「これからはヨコ(同世代)の交流ばかりでなく、タテ(異世代)の交流も図っていきたいです。自治会や老人会、民生委員・児童委員のかたがたと協力して、地域にいる子育て経験の豊富なおじいちゃんやおばあちゃんたちと、世代を超えた交流ができればいいですね」と話してくれました。

地域の愛育班活動に参加しませんか

育児に不安や悩みはつきものですが、後から振り返ってみればたいしたことではないと思えることでも、

その真ただ中にお母さんたちにとつては、なかなか思うよういかず心配になったり、ストレスがたまったりすることもあつたでしょう。そんなときは思い切ってお子さんといっしょに外に出てみましょう。だれかに話してみること気分が楽になったり、リフレッシュできたりすると思えます。

お母さん自身がいきいきと毎日を通し、心身ともに健康でいることが、子どもたちにとって何よりの心の栄養です。決して一人ががんばらずに、みんなで子育てを楽しみましょう。

まずは身近な地域の愛育班活動に参加してみませんか。
健康増進課母子係(内線)604